

令和5年 労働者死傷病報告受理件数表

令和5年11月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		109	1 238	46	186	14	37	6	1 636	3 656	-2 -20
	食料品製造業	45	83	8	38	6	11	2	193	204	-11
建 設 業		2 52	1 72	2 23	1 38			1 11	7 212		7 22
	木造家屋等建築工事業	4	19	3		1	2	2	31	17	14
運 輸 交 通 業		38	116	1 13	89	9	5	3	1 273		1
	道路貨物運送業	33	110	1 11	86	6	5	2	1 253	1 262	1 -9
林 業		4	1	3	1	2	1 4	3	1 18	1 19	-1
小 売 業		47	1 119	28	52	10	1 5	5	2 266		2 25
社会福祉施設		57	75	26	29	10	10	2	209	178	31
接 客 娛 楽 業		16	29	7	23	14	2	14	105	117	-12
	飲食店	12	21	6	15	1	2		57	44	13
上記以外の事業		2 101		21	84	19	15	16	2 433		2 10
	清掃・と畜業	17	35	3	17	4	4	6	86	87	-1
計		4 424	3 827	3 167	1 502	1 84	1 88	1 60	14 2,152	4 2,097	10 55
前年同期		429	2 815	129	2 443	124	99	58	4 2,097		
増 減		4 -5	1 12	3 38	-1 59	1 -40	1 -11	1 2	10 55		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の 型別	墜落・転落	2 71	1 115	1 16	1 61	16	8	13	5 300	5 306	5 -6
	転 倒	106	204	43	103	23	18	14	511	501	10
	はさまれ・ 巻き込まれ	46	100	1 24	74	13	8	11	1 276	2 298	-1 -22
	切れ・こすれ	28	54	5	36	3	10	2	138	132	6
	動作の反動・ 無理な動作	54	163	23	85	13	14	6	358	321	37
起因物別	建設機械等	5	7	1 2	1 5	5	2	3	2 29		2 7
	食品加工用機械	5	16		3	2	2	1	29	39	-10
	トラック	32	59	6	40	3	4	3	147	157	-10
外国人の災害	16	70	1 12	1 89	7	3	1 5	2 202		2 48	
建設公共工事の災害	2 4		1 4	1 5		3		4 32		4 5	

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上の労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

【参考】

令和5年 労働者死傷病報告受理件数表

令和5年11月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		114	1 239	46	191	14	37	6	1 647	3 802	-2 -155
	食料品製造業	46	83	8	40	6	11	2	196	248	-52
建設業		2	1 72	2	1			1	7 214		7 9
	木造家屋等建築工事業	54	72	23	38	6	10	11	214	205	9
運輸交通業				1					1 273		1 -3
	道路貨物運送業	38	116	13	89	9	5	3	273	276	-3
林業				1					1 18	1 19	
		4	1	3	1	2	4	3	18	19	-1
小売業			1			1			2 270		2 14
		47	123	28	52	10	5	5	270	256	14
社会福祉施設	153	209	45	39	35	16	3	500	840	-340	
接客娯楽業		19	29	7	23	14	2	14	108	197	-89
	飲食店	15	21	6	15	1	2		60	54	6
上記以外の事業		2							2 767		2 -399
	清掃・と畜業	142	366	39	145	36	15	24	767	1166	-399
計		4	3	3	1	1	1	1	14 2,797	4	10 -964
		571	1155	204	578	126	94	69	2,797	3,761	-964
前年同期	792	1423	236	688	353	173	96	3,761			
増減	4	1	3	-1	1	1	1	10			
	-221	-268	-32	-110	-227	-79	-27	-964			

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の型別	墜落・転落	2	1	1			1	5	5	5	
		71	115	16	61	16	8	13	300	306	-6
	転倒	106	204	43	103	23	18	14	511	501	10
	はさまれ・巻き込まれ	46	100	1	74	13	8	11	276	298	-22
	切れ・こすれ	28	54	5	36	3	10	2	138	132	6
起因物別	動作の反動・無理な動作	54	163	23	85	13	14	6	358	324	34
	建設機械等	5	7	1	1	5	2	3	2 29	22	2 7
	食品加工用機械	5	16		3	2	2	1	29	39	-10
トラック	32	59	6	40	3	4	3	147	157	-10	
外国人の災害	21	77	1	89	9	3	5	2 216	196	2 20	
建設公共工事の災害		2		1	1			4		4	
		4	8	4	5	3	3	5	32	27	5

注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。

注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。

注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

令和5年 死亡災害事例

令和5年11月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢種 職 種	災害のあらまし	業 種	事故の型別	起因物別
1	1月 18時頃 30～49人	60歳代 教員	校内の階段踊り場に倒れていたところを発見された。	その他の 教育研究業	墜落、転落	階段、栈橋
2	2月 15時頃 30～49人	50歳代 作業者	町道陥没箇所の復旧作業で、路盤のアスファルト等を掘削中、護岸ブロック積擁壁裏の地盤が浸食されていたため、擁壁が町道側に傾き、近くにいた被災者の下半身が擁壁と地山の間にはさまれた。	道路建設 工事業	崩壊、倒壊	建築物、 構築物
3	2月 0時頃 100～299人	40歳代 運転者	県外の荷主先敷地内でフォークリフトを使用してトラックから荷降ろし中、荷台の状況を確認するため、フォークリフトから降りてトラックとの間にいたところ、フォークリフトが逸走してはさまれた。	一般貨物 自動車運送業	はさまれ・ 巻き込まれ	フォーク リフト
4	3月 16時頃 1～9人	20歳代 運転者	建築物の基礎工事中、丁張（木杭）を取り除くため、ドラグショベルの作業半径内に立ち入ったところ、旋回したドラグショベルのバケット部分に激突された。	鉄骨・鉄筋 コンクリート 造家屋 建築工事業	激突され	掘削用機械
5	3月 14時頃 10～29人	60歳代 作業者	杉の木（胸高直径45cm、樹高21m）を同僚が伐採したがかかり木となり、重機でかかり木を牽引処理する作業中、かかり木が倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
6	3月 16時頃 1～9人	40歳代 作業者	太陽光パネルを高さ約3mの架台に設置するため、パネルを入れたラックをトラクターショベル（バケットをフォークに変更）で持ち上げ、ラックに脚立で上がって作業をしていたところ、ラックがフォークから脱落すると同時に墜落し、被災者の上にパネルが落下した。	機械器具 設置工事業	墜落、転落	整地・運搬・ 積込み用機械
7	3月 15時頃 1～9人	50歳代 作業者	配水場改修工事でアンカーボルトの削孔を行うため、深さ5mのマンホール内に発電機（内燃機関）を設置し、使用していたところ、一酸化炭素中毒になった。（1人死亡、3人休業）	上下水道 工事業	有害物等との 接触	原動機
8	5月 10時頃 10～29人	60歳代 作業者	事業場敷地内の擁壁の上にフェンスを設置するための基礎工事作業中、約5m下の地面に転落した。	その他の 土木工事業	墜落、転落	作業床、 歩み板
9	6月 9時頃 100～299人	50歳代 作業者	工場内の機械設備（重量約1t）を移動させる際、機械を平台車に載せ、フォークリフトで牽引していたところ、機械が傾き、補助作業を行っていた被災者が機械と壁の間にはさまれた。	プラスチック 製品製造業	崩壊・倒壊	人力運搬機
10	7月 16時頃 1～9人	20歳代 作業者	12階建てマンションの修繕工事に使用したクサビ緊結式足場の解体中、足場作業用リフトに足場材を積み込むため、手すりを外しておいたところ、その開口部から約17m下の地面に墜落した。	鉄骨・鉄筋 コンクリート 造家屋 建築工事業	墜落、転落	足場

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
11	8月 9時頃 100～299人	40歳代 販売店員	所属店舗内の従業員専用階段前の通路で倒れているところを発見された。	その他の 小売業	その他	その他の 起因物
12	9月 12時頃 10～29人	40歳代 作業者	出張先の事業場にある変電設備の調査のため、キュービクル内部の変圧器の銘板を確認作業中に充電部分に接触して感電した。	その他の事業	感電	電力設備
13	9月 5時頃 10～29人	70歳代 配達員	自車で新聞配達中、配達先の敷地内の窪みで車両が炎上しているところを発見され、車内から被災者が発見された。	新聞販売業	火災	乗用車、 バス、 バイク
14	11月 8時頃 1～9人	40歳代 運転者	護岸ブロック積擁壁の裏込め材の運搬を担当していた被災者が、護岸天端から約4m下の河床基礎コンクリート部に墜落した。	河川土木工事	墜落、転落	その他の 仮設物、 建築物、 構築物等

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。